

# News Letter

山口大学 大学研究推進機構 産学公連携センター/知的財産センター

■ 第 37号 ■

2012年9月21日

## CONTENTS

■ 機構からのお知らせ	1
■ イベント等開催報告	2
■ 出展のお知らせ	6
■ セミナー等のご案内	6
■ JST地域産学官共同研究拠点整備事業 「やまぐちイノベーション創出推進拠点」	7
■ 平成23年度共同研究・受託研究等の実績報告	8
■ 平成24年度客員教授の紹介	9

発行 大学研究推進機構  
産学公連携センター/知的財産センター  
連絡先 〒755-8611 宇部市常盤台2丁目16-1  
電話 0836-85-9961 FAX 0836-85-9962  
e-mail yuic@yamaguchi-u.ac.jp  
URL http://www.sangaku.yamaguchi-u.ac.jp/

## 機構からのお知らせ

### ◆機構改編のお知らせ

平成24年4月1日、産学公連携・イノベーション推進機構を改編し、大学全体の基礎研究力の強化を目的とした「大学研究推進機構」を設置しました。

この機構には、3センター（産学公連携センター、知的財産センター、総合科学実験センター）を置き、従来の産学公連携、イノベーション支援、知的財産関連の諸活動は、産学公連携センター及び知的財産センターにて担当します。ワンストップ窓口・連絡先は、これまでと変わりありませんので、引き続き宜しくお願ひします。

#### 【ワンストップ窓口・連絡先】

山口大学 大学研究推進機構 産学公連携センター/知的財産センター  
電話： 0836-85-9961 FAX： 0836-85-9962  
e-mail： yuic@yamaguchi-u.ac.jp  
住所： 〒755-8611 山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

### ◆平成23年度山口大学産学公連携・イノベーション推進機構年報（活動報告）

当機構の平成23年度年報を発行しました。当機構ホームページの下記ページからもご覧いただけますので、ぜひご覧ください。

ホームページ： <http://www.sangaku.yamaguchi-u.ac.jp/index.php?mode=melmaga>

### ◆文部科学省「ナノテクノロジープラットフォーム」事業に採択

「ナノテクノロジープラットフォーム」事業は、ナノテクノロジーに関する最先端の研究設備とその活用のノウハウを有する機関が緊密に連携して、全国的な設備の共用体制を共同で構築するものです。本事業を通じて、産学官の多様な利用者による設備の共同利用を促進し、産業界や研究現場が有する技術的課題の解決への最短アプローチを提供するとともに、産学官連携や異分野融合を推進することを目的としています。

ナノテクノロジー研究において基本となる3つの技術分野（微細構造解析、微細加工、分子・物質合成）のうち、本学は「微細加工」のプラットフォームを構成して外部供用を行なう実施機関として採択されました。本学では産学公連携センター内に微細加工支援室を設けて、微細加工技術およびそれを下支えする真空技術分野で本事業を推進します。

#### 【微細加工プラットフォーム】（16機関で構成）

北海道大学、東北大学、筑波大学、物質・材料研究機構、産業技術総合研究所、東京大学、東京工業大学、早稲田大学、名古屋大学、豊田工業大学、京都大学〔代表機関〕、大阪大学、広島大学、香川大学、山口大学、北九州産業学術推進機構

【文部科学省発表】： [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/24/06/1323097.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/24/06/1323097.htm)

【ナノテクノロジープラットフォームの概要】：

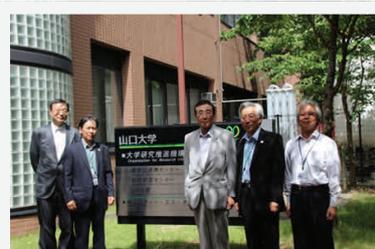
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/24/06/\\_icsFiles/afieldfile/2012/06/29/1323097\\_1\\_2.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/24/06/_icsFiles/afieldfile/2012/06/29/1323097_1_2.pdf)

### ◆URA室看板上掲式を開催

7月18日（水）、常盤キャンパスにて、URA室看板上掲式を開催し、丸本学長、村田副学長（財務施設担当）、三池副学長（学術研究担当）および関係職員が出席しました。

本学は、平成24年度文部科学省補助事業「リサーチ・アドミニストレーター（以下、「URA」という）を育成・確保するシステムの整備（専門分野強化）」に採択され、「URA室」を設置しました。研究者の研究活動の活性化や研究開発マネジメントの強化等を支える業務に従事するURAを配置し、URAを活用・育成するとともに、専門性の高い職種として定着を図ることで、大学における研究推進機構体制・機能の充実強化に資することを目指しています。

当日は、丸本学長から、「URA制度は、大学として未知の部分があるが、役員、関係職員一体となってURA制度の定着を目指して整備に取り組むことで、本学の研究活動がより強化することを期待している」と激励の挨拶がありました。引き続き、URA室員、URA支援事務部門の紹介を行い、それぞれが本学でのURA制度の定着・発展について、今後の抱負を述べました。その後、看板前で記念撮影を行い、式は終了しました。



上掲式の様子

## イベント等開催報告

### ◆Bio tech 2012に出展

4月25日（水）から27日（金）の3日間、東京ビッグサイトで行われた「Bio tech 2012 アカデミックフォーラム」に本学から以下のシーズを出展しました。

- 研究者 農学部 藤井 克彦 准教授
- タイトル 環境技術に応用可能な酵素・微生物探索システムの実用化

Bio tech は、昨年まで国際バイオexpoとして開催されていたイベントをリニューアルしたもので、秋のBio Japanと並ぶライフサイエンス系の一大展示会です。本年度は15,000名以上の来場者があり、藤井准教授のセミナーにも満席となる約50名のご来場を頂きました。

本イベントは、ライフサイエンス分野のマッチングイベントとして、企業関係者の方々との出会いの場であると同時に、研究者にとっては最新の研究動向に関する情報収集の場としても有効である様です。今後もこうしたイベントを活用して、本学の優れたシーズの情報を外部に発信して行きたいと考えております。

### ◆第5回山口県しんきん合同ビジネスフェアに出展

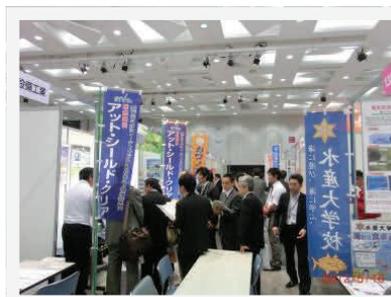
2012年5月10日（木）、海峡メッセ下関で行われた「第5回山口県しんきん合同ビジネスフェア」に出展しました。（全体で164ブースが出展）

本学の幅広い地域連携体制をアピールする目的で、技術相談のみに留まらず、商品化戦略等のマーケティング、調査・評価業務などの宣伝を行いました。

山口県内の中小企業は、食品加工業者が多く、食品の製品分析や性能評価に関する問い合わせを多く頂きました。これらの分野に対応できるように、次回に向けて、具体的なサービスメニューを提示していきたいと思えます。



出展ブースの様子



会場の様子

## ◆平成24年度特許情報検索講習会を開催

大学研究推進機構 知的財産センターの主催で、「平成24年度特許情報検索講習会」が、5～7月に常盤キャンパス（宇部地区）、吉田キャンパス（山口地区）で、それぞれ3週にわたる3日間コースで開催されました。また、9月には主に医学部（小串キャンパス）や学外者向けに、常盤キャンパス（宇部地区第2回）で、連続2日間コースで開催されました。

主な講師は、5～7月の講習会では宇部興産(株)知的財産部の岡本和彦氏、9月の講習会では元特許庁審査官で岡野特許商標事務所所長の岡野卓也弁理士で、それぞれ、特許基礎知識、特許情報検索についての講義と、山口大学特許検索システム(YUPASS)、特許電子図書館(IPDL)の検索ツールを使っての特許情報検索実習が行われました。

本講習会は、平成16年度から引き続いて開講して、「特許情報検索インストラクター養成」のための講座も兼ねたものであり、多くの実習を交えて丁寧にわかりやすく説明され、常盤キャンパスでは30名、吉田キャンパスでは21名、更に常盤キャンパス（宇部地区第2回）では26名の大学教職員、学生、学内外コーディネータ等が熱心に受講しました。受講後のアンケートには、「この講習会は、初心者にとってわかりやすい内容で非常に有意義な講習会であった」との感想が多くみられました。

この特許インストラクター制度は、平成16年度から実施しており、文部科学省や他大学等からも高い評価を受けているところですが、特許インストラクター制度の効果は、学生インストラクターの実践的な知的財産活動の参画により、知財人材の育成が図れ、知財教育を重視する企業等への就職活動に効果が発揮されています。また、大学においては、①学生インストラクターが、教員の研究テーマに関連する特許情報の提供、特許出願関連資料・データの整理等を支援することで、教員の業務負担の軽減を図ることによる研究者支援活動の推進、②出願時の弁理士費用低廉化による法人運営費の大幅な節減等々にもつながっています。

今後、知財教育や就職活動、研究活動推進のためにも本制度を大いに活用いただきたいと思います。

（注）上記事業は、文部科学省が中心となって取りまとめた「研究開発システムの改革の推進等による研究開発能力の強化、及び研究開発等の効率的な推進等に関する法律」の第40条第3項の「大学における研究開発の効率的な推進を図るために、特許情報の活用」に努めることを推進するために、本学において独自に企画されたものです。

## ◆平成24年度山口大学大学研究推進機構セミナー（第1回）

### 「URA制度導入による研究支援体制の強化～先駆大学の取組事例紹介～」

山口大学は、平成24年度文部科学省補助事業「リサーチ・アドミニストレーター（以下「URA」という）を育成・確保するシステムの整備（専門分野強化）」に採択され、大学研究推進機構に「URA室」を6月1日付け設置しました。研究者の研究活動の活性化や研究開発マネジメントの強化等を支える業務に従事するURAを配置し、専門性の高い職種として定着を図ることで、大学における研究推進機構体制・機能の充実強化に資することを目指しています。

このような中で、2012年8月10日（金）、常盤キャンパス（山口県宇部市）の先端研究棟セミナー室において、第1回大学研究推進機構セミナー「URA制度導入による研究支援体制の強化～先駆大学の取組事例紹介～」を開催し、総勢41名の方々にご参加頂きました。

はじめに、大学研究推進機構の三池機構長から、URA制度の導入は大学の研究活動の活性化にお



学術研究部長も熱心に受講  
（吉田キャンパス）



産学連携課長、副課長も熱心に受講  
（常盤キャンパス）



地域の企業、大学からも参加  
（常盤キャンパス：宇部地区第2回）



早出先生（東京農工大学）の講演

いて重要である、との開催挨拶があり、その後URA制度を先駆的に導入している東京農工大学研究戦略センター長である早出広司先生から、「東京農工大学におけるURAの取り組み事例」と題して、大学の戦略としてURA制度を導入した経緯などを含め（１）東京農工大の概要～現状と課題～、（２）URAを配する組織～研究戦略センター～、（３）研究戦略センターの現状と取り組み、について講演を頂きました。

続いて、金沢大学の先端科学・イノベーション推進機構アドミニストレーション部門のResearch Administratorである鳥谷真佐子先生から、実際の現場でURAとして取り組んでいる具体的な活動の紹介を中心に、（１）URAとは？、（２）金沢大学のURA組織、（３）金沢大学におけるURA業務の実際、（４）URAに期待される役割、について講演を頂きました。

参加者は大変熱心に耳を傾け、各講演後には大変活発な議論・意見交換がなされました。

最後に、大学研究推進機構産学公連携センターの堤センター長から、山口大学のURAの現状についての説明があり、引き続き、“種をまくところから刈り取り後まで”の総合的な研究支援体制の構築のためにはURAだけでなく産学連携、知財、TLOのそれぞれの部署のスタッフが連携した活動が必要である、との閉会の挨拶がありました。



鳥谷先生（金沢大学）の講演

#### ◆第9回 JST/CIC「新技術説明会」出展

9月7日（金）、東京・田町のキャンパス・イノベーションセンター東京（CIC）にて開催された「新技術説明会」において、以下のシーズを発表致しました。

- 研究者：医学部保健学科 岡野こすえ 准教授
- タイトル：血小板活性の評価に基づく血栓形成の臨床検査法  
(Clinical test based on the assessment of activated platelets for diagnosis of thrombosis)



講演会場の様子

「新技術説明会」はJST主催による企業向けの大学シーズ発表会で、今回はCICに入居する13大学が合同でシーズを発表しました。岡野准教授の発表内容につきましても、多くの企業の方にご参加を頂き、発表後には企業面から見た貴重な個別コメントも頂きました。

頂いたコメントなどを参考にしながら、本技術の実用化に向けた更に取り組んでいきたいと考えております。

ご参加を頂いた皆様に、厚く御礼を申し上げます次第です。



展示ブースの様子



## ◆「やまぐち事業化支援・連携コーディネート会議」 コーディネータ連絡会議活動報告

本連携会議は、山口県を中心とした産業支援機関、大学及び高等専門学校等の25機関で構成され、約120名の事業化の支援や産学公連携の推進をおこなうコーディネータ及びそれに準ずる業務を行う者が参加しています。山口県の地域資源やシーズを活用した事業化等の支援を行い、地域発イノベーション創出を目指すことを目的として以下の活動をおこなっています。

- (1) 情報交換・情報共有による地域発イノベーション創出支援
- (2) コーディネータ等の交流によるコーディネータ能力の向上
- (3) 関係機関とのネットワーク強化

平成24年度はシーズ・ニーズマッチング活動のほかに、次の新たな取り組みをおこないます。

- ・競争的資金等の獲得に向けて機関やコーディネータ間の情報交換をしっかりと行う。
- ・サポインについては、県外の方などを招いて活動の勉強会を実施する。
- ・研修会や講演会で県内のコーディネータのスキルアップを図る。

《平成24年度前期活動状況》

### ○平成24年度「やまぐち事業化支援・連携コーディネート会議」定時総会

6月6日(水)山口市湯田温泉翠山荘において、定時総会を開催し、71名の出席がありました。総会では、平成23年度事業報告、平成24年度事業計画、会議規約の改正、役員の変更が承認されました。続いて、中小企業基盤整備機構中国支部の山本茂之チーフアドバイザーより「競争的研究開発資金へのチャレンジ」と題して、提案書作成のポイントについて講演がありました。事例発表では、「企業から見た産学公連携について」と題して、株式会社旭興産代表取締役社長上田文雄氏と三笠産業株式会社愛菜事業部長中野明彦氏からそれぞれ産学公連携の紹介がありました。



総会の様子（森会長挨拶）

### ○「平成24年度 第1回コーディネータ連絡会議」活動報告会

7月19日(木)山口市湯田温泉翠山荘において、活動報告会を開催し、62名の出席がありました。コーディネータ活動報告では、「廃タイヤを再利用した植木鉢と製作機械の開発」と題して、(公財)やまぐち産業振興財団の河本義孝コーディネータと株式会社トータルホーム山口の齊藤賢二代表取締役会長以下5名の方による発表がありました。続いて、「ライフサイエンス分野における地域企業・団体との連携事例について」と題して、大学研究推進機構の殿岡裕樹コーディネータより、さらに、「山口県産業技術センターの地域連携への取組み」と題して、(地独)山口県産業技術センターの松本佳昭サブリーダーより発表がありました。また、「山口大学におけるリサーチアドミニストレーター



第1回コーディネータ連絡会議の様子  
(岡山財団 深井部長の基調講演)

の取組み」について、堤宏守産学公連携センター長から紹介がありました。基調講演では、「中小企業の研究開発推進に向けての取組み」～各種事業活動の継続的運営を通じて～と題して、財団法人岡山県産業振興財団技術支援部の深井康光部長よりサポインで実績をあげている岡山県の取組みについて紹介がありました。

### ○「平成24年度 第2回コーディネータ連絡会議」活動報告会

9月6日(木)山口市湯田温泉翠山荘において、活動報告会を開催し、50名の出席がありました。コーディネータ活動報告では、「宇部工業高等専門学校の地域連携への取組み」、「徳山工業高等専門学校の産学官連携の取組み」、「大島商船高等専門学校の地域連携への取組み」と題して、それぞれ宇部高専黒木コーディネータ、徳山高専横山コーディネータ、大島商船 地域連携交流会小泉会長より発表がありました。

基調講演では、「中国経済産業局の施策と地域企業活性化への具体的取組み」と題して、経済産業省中国経済産業局地域経済部の尾本哲朗次長より、企業支援についての紹介がありました。



第2回コーディネータ連絡会議の様子  
(経産局 尾本次長の基調講演)

今後も引き続き競争的資金獲得に向けた活動を継続します。次回連絡会議では、平成25年度公募の申請書の作成のための勉強会を12月～1月に開催する予定です。

## 出展のお知らせ

### ◆やまぐち総合ビジネスメッセ

日 時：平成24年10月26日（金）10：00～16：10  
会 場：麒麟ビバレッジ周南総合スポーツセンター  
（周南市大字徳山427番地）

主 催：やまぐち総合ビジネスメッセ実行委員会

ホームページ：http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16100/furusato/b-messe2012.html

山口大学からは、下記の内容でブースを出展いたします。みなさまのお越しをお待ちしております。

○産学連携マッチング相談会、大学の活動紹介

ご興味のある方は奮って  
ご参加下さい。  
(参加費は無料です)

### ◆中国地域さんさんコンソ 新技術説明会

日 時：平成24年11月9日（金）10：30～16：40

会 場：JSTホール（東京・市ヶ谷）

主 催：中国地域産学官連携コンソーシアム（さんさんコンソ）、独立行政法人科学技術振興機構

山口大学からは、下記発表をいたします。みなさまのお越しをお待ちしております。

○13:50～14:20【エネルギー】

新規ポリ（オキセタン）をベースとする次世代エネルギー貯蔵素子用ポリマー電解質

山口大学 大学院医学系研究科 応用分子生命科学専攻 教授 堤 宏守

ご興味のある方は奮って  
ご参加下さい。  
(参加費は無料です)

## セミナー等のご案内

### ◆平成24年度山口大学大学研究推進機構セミナー（第2回）

著作権セミナー 10月1日から違法DLに刑事罰！～大学関係者が知っておくべき著作権法改正～

大学研究推進機構では、10月1日からの著作権法改正に伴い、著作権法に関する基礎的な理解を深め、著作権制度の知識や意識の向上を図ることを目的として、文化庁から著作権担当者を講師としてお招きし、「著作権セミナー 10月1日から違法DLに刑事罰！～大学関係者が知っておくべき著作権法改正～」を開催いたします。ご興味のある方は、是非ご参加下さい。

なお、今回は、遠隔講義システムを使用し、3地区で開催致します。

日 時：平成24年10月1日（月）15:00～16:40（受付開始14:45）

場 所：山口大学 吉田キャンパス メディア講義室（メイン会場）

常盤キャンパス E21講義室

小串キャンパス 総合研究棟8階多目的室

講 師：檀上 容子 氏（文化庁長官官房著作権課著作権登録・普及係 係長）

対象者：教職員、学生、地域企業関係者、その他関心のある方

主 催：山口大学大学研究推進機構

お問合せ・お申込み先：

山口大学 学術研究部 産学連携課 産学連携係

TEL：0836-85-9976 FAX：0836-85-9962

ご興味のある方は奮って  
ご参加下さい。  
(参加費は無料です)

### ◆平成24年度山口大学大学研究推進機構セミナー（第3回）（予定）

技術契約の基礎と実務あたっての留意点

～すぐに活用できる知財契約実務ノウハウ～（仮称）

日 時：平成24年11月22日（木）14:20～17:10

場 所：山口大学 常盤キャンパス 先端研究棟3F セミナー室

講 師：金崎 雄三郎 氏（独立行政法人 工業所有権情報・研修館 統括広域大学知的財産アドバイザー）

対象者：教職員、学生、地域企業関係者、その他関心のある方

主 催：山口大学大学研究推進機構

お問合せ・お申込み先：

山口大学 学術研究部 産学連携課 産学連携係

TEL：0836-85-9976 FAX：0836-85-9962

E-mail：yuic@yamaguchi-u.ac.jp

ご興味のある方は奮って  
ご参加下さい。  
(参加費は無料です)

※開催日時・場所・内容等は変更になる場合がありますので、事前に大学研究推進機構ホームページでご確認ください。

大学研究推進機構ホームページ→ <http://www.sangaku.yamaguchi-u.ac.jp/>

## JST地域産学官共同研究拠点整備事業「やまぐちイノベーション創出推進拠点」

山口県地域の産学官連携の総合的な取り組みを推進するための拠点『やまぐちイノベーション創出推進拠点』がJSTによって山口大学（常盤キャンパス）と山口県産業技術センターに整備されました。

本拠点には下記に示す各種の最新設備・機器が設置されています。2機関が従来から保有しているオープン利用機器もご利用いただけます。利用を検討したい、ご興味をお持ちの企業・研究者の方がいらっしゃいましたらお気軽に下記お問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

＜本件についてのお問い合わせ先＞

山口大学大学研究推進機構 産学公連携センター（担当: 林）

電話：0836-85-9976 FAX：0836-85-9952

電子メール：yuic@yamaguchi-u.ac.jp

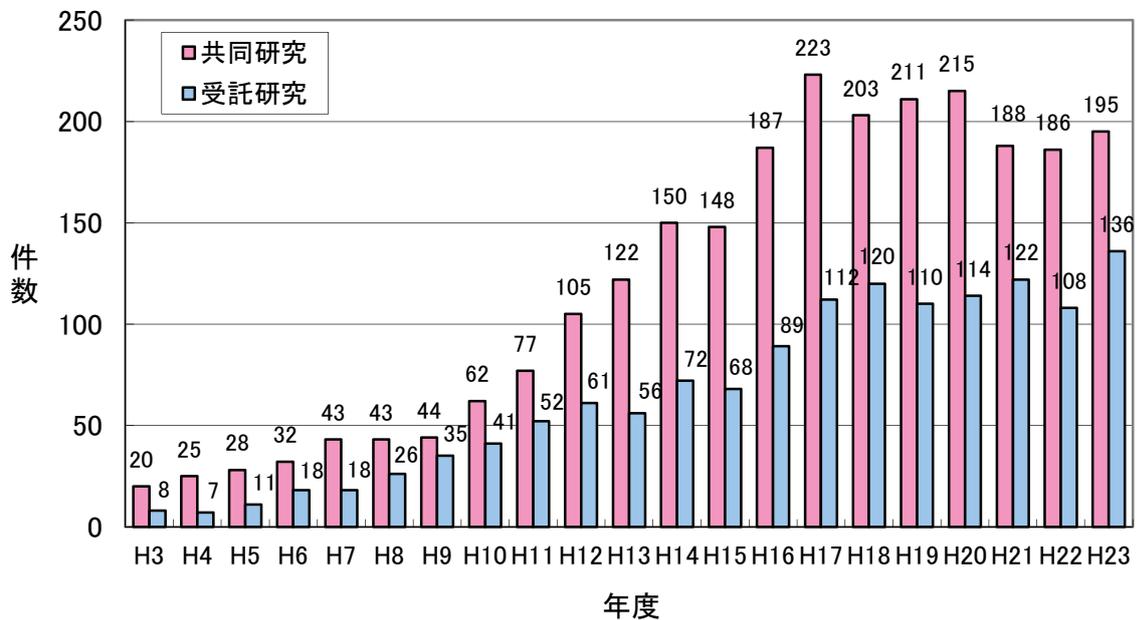
--【研究設備リスト】設置場所:山口大学 大学研究推進機構 -----	設置部屋
■ サーマル電界放出形走査電子顕微鏡 JEOL JSM-7600F	先端研究棟1階 電子顕微鏡室
■ 透過型電子顕微鏡システム JEOL JEM-2100	先端研究棟1階 電子顕微鏡室
・集束イオンビーム加工観察装置 JEOL JEM-9320FIB	先端研究棟1階 電子顕微鏡室
■ ソーラーシミュレータ EKO SS-156XIL	先端研究棟2階 新エネルギー実験室
■ 二次元輝度計 東陽テクニカ ICAM	先端研究棟2階 新エネルギー実験室
■ CO/CO2有機炭素分析システム	ビジネス・インキュベーション棟2階 省エネ・環境マテリアル実験室3
1. ガス濃度分析装置 島津 CGT-7000タイプ1A	ビジネス・インキュベーション棟2階 省エネ・環境マテリアル実験室3
2. ガスクロマトグラフシステム 島津 GC-014AF/SPL	ビジネス・インキュベーション棟2階 省エネ・環境マテリアル実験室3
3. 全有機炭素計 島津 TOC-Vcph	ビジネス・インキュベーション棟2階 省エネ・環境マテリアル実験室3
■ ナノ粒子径分布測定装置 島津 SALD-7100	ビジネス・インキュベーション棟2階 省エネ・環境マテリアル実験室3
■ 熱分解ガスクロマトグラフ・質量分析システム	共同研究開発棟2階 省エネ・環境マテリアル実験室1
1. ガスクロマトグラフ質量分析装置 島津 GCMS-QP2010Plus	共同研究開発棟2階 省エネ・環境マテリアル実験室1
(差動型示差熱天秤)Thermo Plus Evo	共同研究開発棟2階 省エネ・環境マテリアル実験室1
2. ガスクロマトグラフ質量分析装置 島津 GCMS-QP2010Plus	共同研究開発棟2階 省エネ・環境マテリアル実験室1
(加熱脱着装置)TD-20	共同研究開発棟2階 省エネ・環境マテリアル実験室1
(熱分解装置)PY-2020iD	共同研究開発棟2階 省エネ・環境マテリアル実験室1
■ 汎用画像センシングシステム	共同研究開発棟2階 省エネ・環境マテリアル実験室2
1. ハイビジョン認識システム	共同研究開発棟2階 省エネ・環境マテリアル実験室2
2. レーザー形状測定器 キーエンス LT-9010M	共同研究開発棟2階 省エネ・環境マテリアル実験室2
■ クリーンルーム	共同研究開発棟2階 マテリアル試作エリア
■ 共焦点レーザー顕微鏡 ZEISS LSM LSM710 Config.2	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
■ 自動細胞解析分取システム	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
1. 自動細胞解析分離分取システム BD FACSAria III	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
2. 全自動磁気細胞分離装置 autoMACSTMP Starting Kit	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
3. 酵母用マイクロマニピレーションシステム Singer MSM c System 400	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
4. 高速菌体移設装置 Singer Instruments RoToR HDA	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
■ 細胞培養装置	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
1. 蛍光顕微鏡 キーエンス BZ-8100	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
2. 吸収測定装置 HITACHI U-5100	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
3. 発光測定装置 ベルトールドジャパン(株)LB960	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
4. 蛍光測定装置 ベルトールドジャパン(株)LB970	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
5. 細胞培養装置	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
・微生物細胞培養装置 NBS NB-250	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
・動物細胞培養用高密度細胞培養装置 Bellstaga-3000	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
・CO2インキュベーター SANYO MCO19AIC	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
6. 超低温フリーザー SANYO MDF-1156ATN	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
7. 超低温フリーザー SANYO MDF-U384	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
8. オートクレーブ TOMY LSX-700	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
9. CO2インキュベーター SANYO MCO-19AIC	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
10.CO2インキュベーター SANYO MOC-18M	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
■ 超遠心機	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
1. 超遠心機 BECKMAN COULTER Optima L-100XP	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
2. 高速冷却超遠心機 BECKMAN COULTER Avanti J-E	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
■ イメージングシステム	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
1. イメージングサイトメーター IN Cell Analyzer 2000システム	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
2. イメージアナライザー TyphoonFL9000BGR	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
3. 生細胞遺伝子発現解析システム BioTek社Synergy MX SMATBL	共同研究開発棟2階 環境・バイオ実験室
-----	
【研究設備リスト】設置場所:山口県産業技術センター -----	
■ フィールドエミッションオージェ電子顕微鏡 JAMP-9500F	
■ X線CT装置 島津 inspeXio SMX-225CT	
■ 基板評価システム	
1. レーザー干渉平面度測定装置 (株)ニデックFlatMaster200XRA-Wafer	
2. 干渉膜厚計 日本電計(株)TW-10-40000-5L-D2	

# 平成23年度共同研究・受託研究等の実績報告

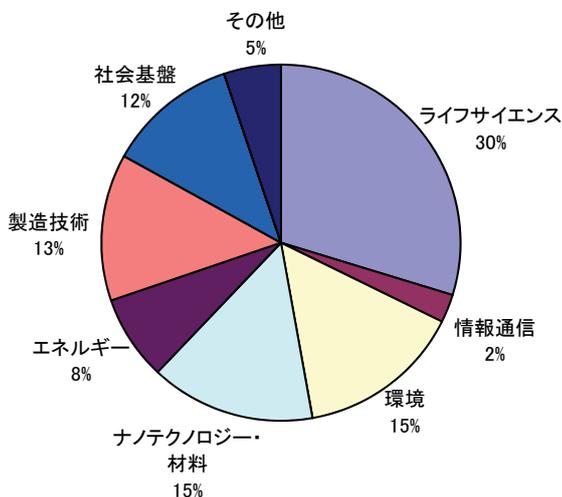
平成23年度の共同研究・受託研究 件数および金額

	件数	金額（千円）
共同研究	195	275,400
受託研究	136	759,044
計	331	1,034,444

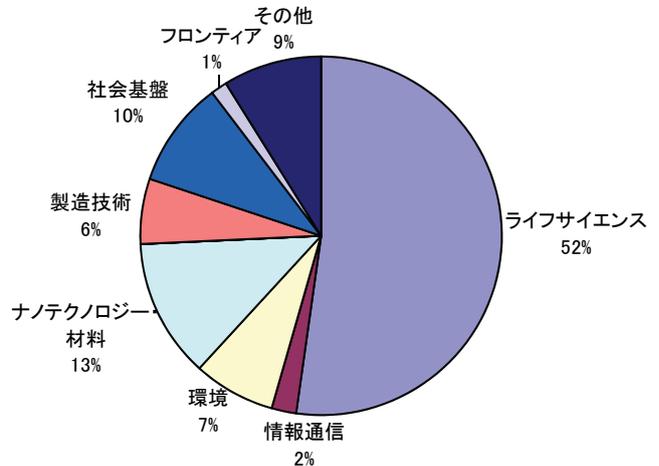
共同研究・受託研究件数推移 (H23年度)



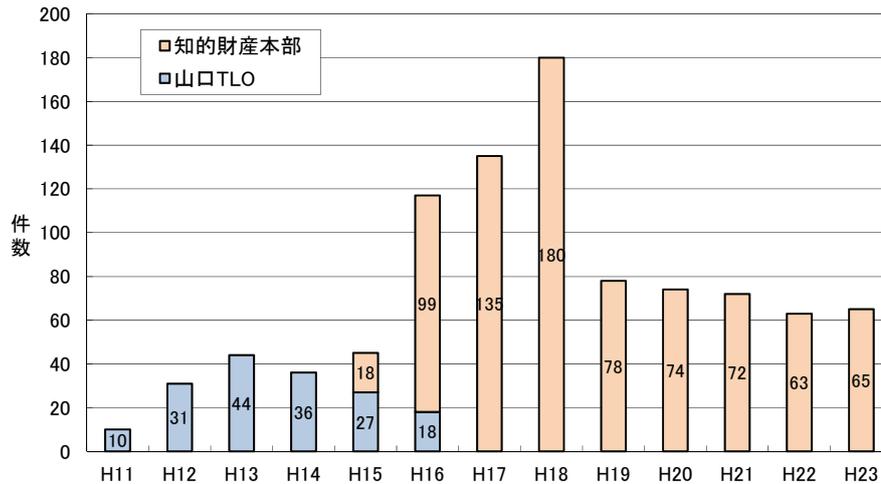
共同研究分野別割合 (H23年度)



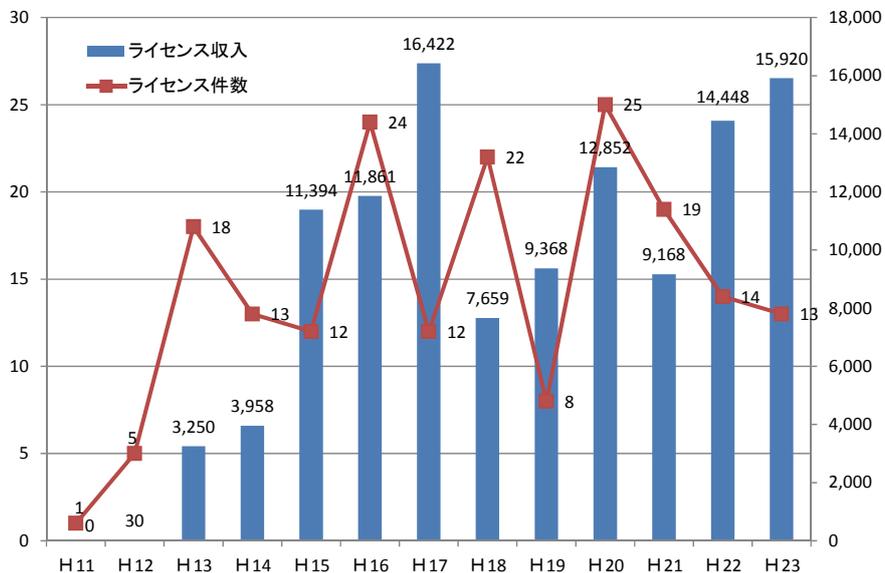
受託研究分野別割合 (H23年度)



特許出願件数



(有)山口TLOのロイヤリティ収入及び技術移転件数



**平成24年度客員教授の紹介**

氏名	現職	専門分野
辻理	サムコ株式会社 代表取締役社長	非平衡プラズマによる材料創成 経営戦略論(ベンチャー起業論)
則近 憲佑	山口大学客員教授	知的財産法全般 知的財産関連法(ex 独禁法)
辻本 一義	辻本法律特許事務所 弁理士	知的財産権
辻本 希世士	辻本法律特許事務所 弁護士, 弁理士	知的財産権
奥 登志生	山口大学客員教授	技術契約, 知的財産

山口大学大学研究推進機構 産学公連携センター/知的財産センター  
Organization for Research Initiatives, Yamaguchi University

連絡先: 〒755-8611 宇部市常盤台2丁目16-1  
発行: 山口大学大学研究推進機構 TEL: 0836-85-9961 FAX: 0836-85-9962  
E-mail: yuic@yamaguchi-u.ac.jp ホームページ: <http://www.sangaku.yamaguchi-u.ac.jp/>